

東建パブリニュース

平成30年4月12日
経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載 平成30年4月11日 中日新聞 P.9

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

東建が「刀剣」財団設立へ

東建コーポレーション（名古屋市）は、同社が所有する日本刀や甲冑の保存・継承を目的に、一般財団法人「東建ワールド財団」を16日に設立する。財団は2020年6月に名古屋・栄にオープン予定の博物館「名古屋刀剣ワールド」の運営にもあたる。

同社の左右田稔社長兼会長は、40年以上にわたり日本刀や甲冑を収集。一部を名古屋市中区の本社や三重県桑名市のホテルで一般公開している。今後は財団の所有として管理し、建設中のマンション「栄タワーヒルズ」に併設する博物館で展示する。

博物館には、1400平方メートルの展示スペースに日本刀200本と甲冑50点などが並ぶ。最新の映像技術を組み合わせた展示や、鉄を金づちで打って刀づくりを

日本刀や甲冑保存・継承



名古屋刀剣ワールドのイメージ図

体験できるアトラクションも設ける。模造刀などのグッズも製作し、訪日外国人客らの集客を目指す。

財団の代表理事を務める左右田社長兼会長は「今までにない博物館をつくりたい。名古屋の観光振興の一助になれば」と話している。

以上